

事業報告書

【1】概況

第2次地域福祉活動計画も4年目を迎え、まとめの時期になってきた。取り組み状況の点検評価を行い、行政と共に牧之原市の福祉の充実を図り、「ふれあいを大切にしたい生涯安心して暮らすことのできるまちづくり」の実現に向け事業を推進していく。

生活困窮者の対応については、長引く景気低迷や急激な超高齢社会への対応等、社協の取り組む事業は年々重要性が増している。この事業も3年目を迎え、民生委員児童委員や市の関連部署と連携を図り、市民に密着した相談を行ってきたが、生活困窮者の増加は本市においても例外ではなく、生活福祉資金の貸し付けや行政の生活保護担当と連携するケースが増えている。

地域支え合いとして、らいふサポーター派遣事業「あるたす」をスタートさせる。高齢者のちょっとした困りごとに、ちょっとしたお手伝いをする事業である。

地域包括ケアシステムの構築については、社協が本来実施すべき事業でもある「地域づくり」が重要視される制度となったことから、市と連携を図り、養成講座の実施や、地域支援マップづくりなど地域に密着した事業展開をしている。

在宅福祉事業においては、平成30年4月にデイサービスセンターうたりの新規施設オープンを目指す。デイサービス事業の運営は厳しい状況下にあるが、各事業所ごとの特色を出せるよう職員全員が工夫していくことで、安定した経営ができるよう引き続き改善を進めていく。

今後も地域福祉を推進する団体として、役職員が一丸となって住民ニーズに基づいた事業を展開していく。

【2】主要事業

基本目標Ⅰ 安心して暮らすことのできるまちづくり

施策1 相談窓口の充実

悩みごとや心配ごとを持つ方が気軽に相談できる窓口を下記のように設置し、総合相談及び援助活動を行った。

種類	開設日	場所	相談活動の内容
福祉総合相談	月～金曜日 (8:15～17:00)	相良総合センターい～ら	社会福祉協議会の職員が、様々な福祉の相談(ボランティア・介護・サロン活動・生活困窮など)に電話や訪問など、様々なケースに対応した。
	月～金曜日 (8:15～17:00)	老人福祉センター	
心配ごと相談	毎月第2水曜日 (9:00～11:30)	市民相談センター	市民からの多様な相談に対応するため、民生委員児童委員と司法書士が相談に対応した。 ●主な内容 財産、離婚
	毎月第4水曜日 (9:00～11:30)		
法律相談	毎月第1水曜日 (10:00～15:00)	市民相談センター	市民や他市町から多様な相談に対応しています。弁護士、人権擁護委員、行政相談員が相談に対応した。 ●主な内容 財産、離婚、人権・法律
	毎月第3水曜日 (10:00～15:00)		

(1)相談窓口の利便性の充実を図り、地域ニーズの把握に努めた。

【福祉総合相談】

相談件数 1,017件(※相談内容は重複有)

受付方法		電話	来所	訪問	会議				計
		332	329	322	34				1,017
日本人	相談者	一般	二次予防	要支援者	要介護者	障害者	その他		
	高齢者	143	57	4	19	11	0		234
	60～64	153		0	1	10			164
	59歳以下	491		0	1	89	0		581
外国人	相談者	一般	二次予防	要支援者	要介護者	障害者	その他		
	高齢者	1		0	0	0	0		1
	60～64	0		0	0	0	0		0
	60歳以下	36		0	0	1	0		37
相談内容		介護問題	医療疾患	施設病院	心理的問題	経済的問題	生活問題	その他	
		36	103	12	330	883	919	9	2,292

【心配ごと・法律相談】

開設日数 及び延数	相談事項と件数																				
	生計	年金	職業・生業	住宅	家族	結婚	離婚	健康・衛生	医療	精神衛生	人権・法律	財産	事故	児童福祉・母子保健	教育・青少年	障がい児者福祉	母子・父子福祉	老人福祉	苦情	その他	
(開設日数) 心配 26日 法律 24日																					
(延べ件数) 心配 68件 法律 166件 計 234件																					
心配ごと相談件数	9	0	1	4	4	0	8	0	1	0	1	31	3	0	0	0	0	2	2	2	
法律相談件数	21	0	4	5	9	1	35	0	2	0	9	61	9	0	0	0	0	0	7	3	
合計	30	0	5	9	13	1	43	0	3	0	10	92	12	0	0	0	0	2	9	5	

【フィーリングカップル事業】

実施日	会場	活動の内容
5月14日(土) 18時30分～ 20時45分	静波スウィング ビーチ	20歳から45歳の市内独身男女を対象として実施した。当日は、男性9名女性11名の参加があった。会場のビーチサイドで各グループでバーベキューを楽しんだ。一対一の自己紹介後に今気になっている人を書いてもらうことによって、その後の行動が積極的になったように感じた。1組のカップルが成立した。
11月26日(土) 14時～17時30分	浜岡 グランドボウル	市企画課とまきコンを実施し、女性25歳から40歳、男性30歳から45歳の独身男性(市内)女性(市内外)を対象とした。当日は男性17名女性14名の参加があった。ボウリングで交流をした後、市内でスイーツを食べ、大変賑やかであった。また、司会者を芸人ケチャップさんに依頼したことで、場が大変盛り上がった。5組のカップルが成立した。
3月4日(土) 14時～22時	御殿場高原 ビール時之栖	30歳から45歳の独身男性(市内)女性(市内外)を対象として実施した。当日は男性6名女性6名の参加があった。今回は初めてバスで遠出をした。何回かSAで席替えをし、じっくり一対一で話をしてもらった。また、アルコールを飲めることもあり話も弾んでいる様子であった。いつもよりパーティー時間が長いため、より行動が積極的になったように感じた。2組のカップルが成立した。

(2) 無料相談の周知を進め、相談体制を整備した。

① ふくしだよりに掲載

毎月1回全戸配布するふくしだよりのお知らせに、翌月の相談日や会場などを掲載し市民に周知している。

② ホームページの活用

「困りごとを相談したい方に」に各種相談内容や会場、日程等を掲載している。また、Eメールでも対応している。

【アドレス】<http://www.makinohara-shakyo.jp>

(3) 相談員や職員のスキルアップに努めます。

① 相談員について

相談員として出席している民生委員児童委員の定例会にて、みなさんが相談員として参加している意味や役割を伝えている。

② 外部研修への参加

職員の相談スキル向上のため、県社協が主催する各種制度の研修会や講習会に参加している。また、日頃から職員間で情報を共有している。

★評価

結婚相談について市内の男女を対象に実施をした。休日の開催だったため、参加者の集合が良かった。一対一で自己紹介をしたことで、より積極的に行動する姿が見られた。また、開催時間が長ければ長いほど話が弾んでいるように感じた。

相談件数としては昨年度同様のペースであるが、一般の相談者が増え要介護者・要支援者の件数が減っており、相談部署の棲み分けが出来つつある。高齢者が絡むケースの生活困窮世帯への介入に関しては、相良地区を中心に包括支援センターと連携し、ケースワークや支援調整会議を中心に情報提供や進捗状況の確認ができています。

社協にて自立相談支援事業と家計相談支援事業の両事業を受託したことで生活困窮における“就労の安定、”と“家計の整理、”という2つの課題に対して計画的に取り組むことが可能となっている。

★課題

心配ごと相談、法律相談については、今後社協や包括に入る可能性のある相談(生活困窮や貸付、成年後見制度、介護問題等)について事前に把握することができる機会となっているが、適切に法律相談等を利用した際に関係機関に繋ぐことができているか疑問が残る。単に法律知識を聞きたいケースだけでなく継続的に関われる機関へ必要に応じて繋ぐことができる体制が必要であると感じる。

結婚相談については、出会いの場の提供のため、その後つきあったのかなどが不明である。商工会や農協でも同じような企画を行っている中、社協として行うことについて検討する必要性を感じる。

生活困窮者自立支援法のもと、相談業務に取り組んだ結果これまで地域の中で潜在していた就労に就くことが困難な50代～60代前半の方々の相談が増えている。そのままの状況が続いた場合に生活保護となるケースのため、今後は牧之原の地域課題として捉えていく必要がある。

施策2 災害時要援護者(避難行動要支援者)対策の充実

(1)行政や県社会福祉協議会、県ボランティア協会など関係機関との災害時ネットワークの充実を図ります。

①志太榛原災害VC連絡会への参加

志太榛原地区4市2町の社協災害担当者及び災害ボランティアコーディネーターによる連絡会を中部危機管理局職員をオブザーバーとして招き実施した。当連絡会は各市町間の支援体制を築くことを目的に実施し、各市町災害ボランティアコーディネーターの活動状況やボランティアセンターの運営方法等の情報共有をすることができた。

【7月9日】藤枝市福祉センターきすみれ 6名

【1月22日】相良総合センターい〜ら 6名

②災害時ボランティアコーディネーター及び市防災課、建設課、社会福祉課、社協等が市の防災対策等についての連絡会を実施した。

【6月8日】・防災タワー東海地方避難設備の進捗状況と今年度の避難設備計画

・災害時支援物資の配分、体制について等 18名

【9月21日】・災害ボラセンター活動資機材の配備状況、次年度予算計画について

・原子力災害における避難等対策について等 17名

【11月30日】・災害時トイレ計画について

・備蓄品の配備及び配給における自主防への協力依頼について等 12名

【2月8日】・行政側からみた災害VCの役割、活動内容・範囲等

・当市と友好、姉妹都市を結んだ他市町との災害時にあけるボランティア活動の協定の有無 10名

(2)災害対策マニュアルの定期的な見直しを行い、災害時に備えた。

①災害対策マニュアル

マニュアルは年度ごと更新し、常に最新の状態としている。また、災害時ボランティアコーディネーターの定例会での意見等も内容に反映させている。

(3)障がい者(児)や妊産婦等要援護者への防災対策を検討した。

①防災対策マニュアルの検討

視覚に障がいのある職員を中心に、視覚障がい者向け災害マニュアルの作成を行っている。

②福祉救援ボランティア講座を実施

障がい者団体より「災害発生時、避難所等で受入してくれるのか心配」との声があり、相良総合センターい〜らを会場に、災害ボランティアコーディネーターの協力を得て、避難所体験を実施した。当日は、こづつみ作業所、第2こづつみ作業所、手をつなぐ育成会の会員等が参加し、非常食試食、携帯トイレの使用方法を体験した。

【2月22日】相良総合センターい〜ら 65名

(4) 災害ボランティアコーディネーターの支援、連携及び育成を図った。

①災害ボランティアコーディネーターの育成・充実・連携

災害ボランティアコーディネーター養成講座修了者と災害ボランティアに関心がある市内在住者15名が会員となり、相良総合センターい〜らを会場に毎月第1水曜日に定例会、第4水曜日に理事会を開催した。定例会では、災害時のマニュアルの検討や本部運営に関する協議等、理事会では定例会の内容に関する協議等を行った。

定例会

- 【4月13日】 牧之原市災害ボランティアコーディネーター総会 11名
- 【5月11日】 事業計画スケジュール・家庭教育学級防災講座への協力・熊本地震への募金等 7名
- 【7月7日】 クロスロードゲーム・ふれあい広場参加計画・防災教育講座日程と概要について等 9名
- 【8月8日】 災害ボランティアセンター立ち上げ訓練 8名
- 【9月7日】 神戸大学生等との意見交換会 15名
- 【10月17日】 避難所運営訓練への参加及び意見交換等 4名
- 【12月7日】 防災用地区別マップ作り 5名
- 【1月11日】 志太榛原地区災害VC連絡会の運営・災ボラ連絡会協議事項等 10名
- 【3月8日】 29年度事業、予算計画・総会の開催・県図上訓練参加報告等 10名

理事会

- 【4月20日】 7名
- 【5月25日】 7名
- 【6月29日】 7名
- 【7月20日】 4名
- 【8月31日】 8名
- 【9月28日】 6名
- 【10月21日】 7名
- 【11月24日】 7名
- 【12月15日】 6名
- 【1月25日】 3名
- 【2月22日】 6名
- 【3月29日】 6名

②災害ボランティアコーディネーター養成講座

災害体制の強化及び災害VCOを養成することを目的に実施をした。2日間参加した方には、「ふじのくに災害ボランティアコーディネーター認定証」を交付し、5名が対象となった。

- 【9月11日・18日】相良総合センターい〜ら 13名

③災害ボランティア交流

神戸大学から災害ボランティアサークル「震災救援隊」が牧之原市災害ボランティアコーディネーターとの交流を目的に牧之原市へ訪問に来た。初日は親睦を兼ねた交流会を行った。2日目はグループワーク形式で、災害について話し合いを行った。

- 【9月6日・7日】神戸大学生・静岡県学生支援V団体「うちっち」・牧之原市災害ボランティアコーディネーター他 15名

④さざんかふれあい広場への参加

災害時のトイレ・非常持ち出し品の展示(ペット非常持ち出し品含む)を実施した。

- 【10月2日】総合健康福祉センターさざんか 4名

★評価

牧之原市災害ボランティアコーディネーターの会議に毎月参加し、意見交換することで連携が図れている。また行政関係課等との連絡会を実施することにより災害ボランティアセンター運営に関する役割分担や情報共有をすることが出来た。

★課題

牧之原市災害ボランティアコーディネーターへの新規の参加者が少ないため、今後も災害ボランティアコーディネーター養成講座を実施し、会員の確保を目指していく。

施策3 福祉の担い手の確保・活動の充実

(1) 各種ボランティア講座やサロン協力員講習会の開催を継続し、リーダーの育成を進めます。

① サロン協力員の育成・充実

サロン協力者、民生委員児童委員、またはボランティアに興味がある方を対象に、講習会を開催し新しい取り組みの補助や、情報提供、情報交換を行った。

【7月27日】 総合健康福祉センターさざんか 18名

やってみっかや～こんなレク

【9月12日】 相良総合センターい～ら 28名

やってみたい！かわいいクラフト

【11月11日】 相良総合センターい～ら 14名

やってみっかや～こんなレク! その2

【2月15日】 相良総合センターい～ら 5団体

救急講習会

② ふくし体験講座の実施

夏休みを利用して、障がいがある方の暮らしを体験することで、福祉への理解や自分たちにもできる活動を考えるきっかけ作りを目的としたふくし体験講座を開催した。

【8月4日】 相良総合センターい～ら 25名

(2) サマーショートボランティアの開催を支援し、若い世代のボランティアの関心を高めます。

① サマーショートボランティアの充実

今年で35回目となったこの事業。県ボランティア協会が主催となって、市内の34福祉施設で、中・高校生等が連続4日以上ボランティア活動を行った。

【活動期間】8月1日～8月30日

(3) 活動支援者として、元気な高齢者の活用を図ります。

① ボランティア活動への参加

相良・榛原両地区のひとり暮らし高齢者を対象にふれあい食事会を開催した。相良地区では、らいふサポーター、あい♥クック、榛原地区では、大原チンドン一座、生きがいリーダー、オムレツくらぶがレクリエーション等の出し物やお弁当を作っていただき、地域での活動の場を提供した。

【8月29日】相良総合センターい～ら 22名

【9月16日】総合健康福祉センターさざんか 29名

★評価

小中学生に福祉を知ってもらう機会を、夏休みに開催できたことはとてもよかった。特に小学生のふくし体験講座では街に出て買い物や公共交通機関に乗ることで、視覚障がい者の体験をできたことは、他者の気持ちを分かってもらえる良い機会となった。

また、サマーショートボランティアでは主催から外れ、県ボランティア協会が主体となって実施したが、問題もなくスムーズに行うことができた。

★課題

介護保険改正に向け、要支援の方が地域で安心して暮らすことができるためには、今以上の福祉の担い手づくりが必要となる。地域に必要なニーズ調査と社協だけでなく、市との協働が必要だと感じた。

施策4 各種福祉サービスの利用支援

(1) 利用者の状況に応じて既存事業の見直し。

介護保険事業所(P31～59)

機能訓練事業(P73)

(2) 積極的に広報を行い、事業や制度の周知を図った。

① 社協広報紙「ふくしだより」の発行(12回)

福祉意識の啓発と社協の活動を市民に理解してもらうため、A4版4面の「ふくしだより」を毎月15日(土日祝日は前となる)に、自治会を通じて発行した。

【年間発行部数】月14,100部(年計169,200部)

② ホームページの充実

社協事業の報告やイベント情報をホームページに記載し、一般市民へ提供した。また、ホームページについては、多くの人に見てもらえるようお知らせを随時掲載するようにした。またフェイスブックも始めた。

【アドレス】<http://www.makinohara-shakyo.jp>

【Face book】牧之原市 社会福祉協議会

③ ボランティア情報紙の発行

市民ボランティアに対する意識向上、今後の総合事業における生活支援サービスボランティアを知ってもらうきっかけづくりとして、新聞折込によるボランティア情報誌を発行した。

④ サロン通信の発行

高齢者等が、地域の居場所として活動している「ふれあい・いきいきサロン活動」を市民の方にも知ってもらう機会として、新聞折込みによるふれあい・いきいきサロン通信を発行した。

⑤ サロン啓発パンフレット

牧之原市内でサロンを始めたい方や内容を知りたい方へ、「あなたも、はじめませんか？ふれあい・いきいきサロン」を作成し、い〜ら窓口に置き啓発した。

(3) 関係機関との連携を強化し、サービスの質の向上に取り組んだ。

地域包括支援センター及び生活支援センターつばさ(P60～67)

(4) 介護者家族のリフレッシュを目的とした、介護者の集いを継続して実施。

地域包括支援センター(P60～64)

(5) 介護予防及び生きがいづくりを目的とした、介護予防通所事業を継続して実施。

生きがいデイあしたか(P68～72)

★評価

ホームページも3ヶ月に1回を目安に、バックの色を変更して、飽きないような工夫をしている。

広報紙については、毎月カラーで発行している。なるべく文字数を減らして見やすいことを心がけている。また地域で活躍する団体や個人が行っている地域福祉活動をふくしだよりで取り上げることで、活動への意欲をさらに高めることができた。

★課題

報告紙ではなく、情報紙になるようにアウトリーチし情報を集めるようにしたい。また、ホームページについては写真の更新など、見た目を変えるなどして何度見ても飽きないようにしたい。

施策5 情報提供の充実

(1) ふくしだよりの内容の充実を図った。

再掲(I - 4 - (2) - ①) (P7)

(2) ホームページを活用し、新しい情報を発信。

再掲(I - 4 - (2) - ②) (P7)

(3) ボランティア情報紙、サロン通信を発行。

再掲(I - 4 - (2) - ③④) (P7)

施策6 生活環境の整備の充実

(1) 日常介護用具総合貸与事業、施設入浴サービス事業、移動支援事業、福祉車両貸出事業を継続、実施。

① 日常介護用具総合貸与事業

介護保険が適用されない方で、日常生活上介護ベッドやエアマットが必要な方に3ヶ月以内で貸出を行う事業。

② 施設入浴サービス事業

再掲(I - 4 - (1) - 相良ホームヘルプサービス・榛原ホームヘルプサービス) (P46・P49)

③ 移動支援事業

再掲(I - 4 - (1) - 相良ホームヘルプサービス・榛原ホームヘルプサービス) (P46・P49)

④ 福祉車両貸出事業

[相良事務所]

マイクロバス(27人乗り)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
回数	13	14	11	11	9	8	
延べ人数	249	303	208	238	176	131	
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
回数	18	20	11	7	10	13	145
延べ人数	357	461	223	118	233	245	2,942

ワゴンR(福祉車両:スロープ車・3人乗り)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
実人数	6	6	5	7	7	7	
延べ人数	8	8	7	7	6	10	
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実人数	8	8	8	6	8	6	82
延べ人数	13	10	10	7	8	8	102

デミオ(福祉車両:スロープ車・3人または4人乗り)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
実人数	8	6	4	8	4	5	
延べ人数	27	23	16	27	19	25	
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実人数	4	5	3	6	7	7	67
延べ人数	18	20	16	21	27	24	263

〔榛原事務所〕

ハイエース(福祉車両:10人乗り)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月		
実人数	0	3	0	2	2	1		
延べ人数	0	3	0	2	3	1		
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
実人数	0	1	1	2	1	0	13	
延べ人数	0	1	1	2	1	0	14	

ファンカーゴ(福祉車両:5人乗り)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月		
実人数	12	11	7	10	8	7		
延べ人数	31	18	23	23	22	9		
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
実人数	8	9	11	8	6	6	103	
延べ人数	18	29	27	26	31	26	283	

AZワゴン(福祉車両:スロープ車・3人または4人乗り)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月		
実人数	8	7	9	7	6	10		
延べ人数	12	8	11	11	8	11		
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
実人数	5	6	6	7	4	9	84	
延べ人数	8	12	11	15	7	14	128	

(2) 心身障がい児(者)施設への通所者に通園費補助事業を継続、実施。

①心身障がい児(者)通園費補助事業

牧之原市内に居住し、心身障がい児(者)施設へ通う在宅心身障がい児(者)へ、1ヶ月1,000円の施設通園(所)費補助を行った。

【前期】134名(721,000円) 【後期】139名(737,000円)

(3) ふれあい食事会を実施し、ひとり暮らし高齢者にふれあいの場を提供。

①ひとり暮らし高齢者ふれあい食事会

相良地区(1回)

70歳以上のひとり暮らし高齢者を対象に、会食方式の食事会を実施し、参加者同士やボランティアとの交流により楽しい時間を過ごした。

【8月29日】相良総合センターい〜ら 24名

内容:今回は業者のお弁当ではなく、調理ボランティア「あい♥クック」の調理したお弁当をいただき、ライフサポーター養成講座受講生によるレクリエーションで楽しんだ。

榛原地区(1回)

70歳以上のひとりぐらし高齢者を対象に、ボランティアグループ“オムレツくらぶ”の協力により、会食方式の食事会を実施し、参加者同士やボランティアとの交流により楽しい時間を過ごした。

【9月16日】総合健康福祉センターさざんか 64名

内容:静波保育園児による出し物、大原チンドン一座、生きがいリーダーによるレクリエーションで楽しんだ。

②ひとりぐらし高齢者給食サービス

相良地区(19回)

70歳以上の見守り等の支援が必要と思われる、ひとりぐらし高齢者及び高齢者世帯40名を対象に、200円の利用料で月2回ボランティア連絡会の調理部会が作ったお弁当を、民生委員児童委員が高齢者宅へ配食した。8・9月は、食中毒の恐れがあるため弁当は休止したが、9月14日(水)に民生委員の協力を得て見守り訪問を実施した。

【配付した弁当の延べ食数】762食

【見守り訪問】46名

榛原地区(19回)

70歳以上の見守り等の支援が必要と思われる、ひとりぐらし高齢者及び高齢者世帯30名を対象に、200円の利用料で月2回ボランティアグループ“オムレツくらぶ”が作ったお弁当を配達ボランティアが高齢者宅へ配食した。8・9月は、食中毒の恐れがあるため弁当は休止したが、8月24日(水)に配達ボランティアの協力を得て見守り訪問を実施した。

【配付した弁当の延べ食数】292食

【見守り訪問】17名

★評価

福祉車輛については、ふくしだよりによる広報を行ったところ、登録の更新を行い継続的に利用している方だけでなく、新規に登録を希望するケースが出てきている為、今後も引き続きニーズがあると考えられる。また、ふれあい食事会は参加者同士や地域の方々との交流ができた。給食サービスは安否見守りができることと、担当民生委員さんとの連携が取れ情報交換ができる。

また、給食サービスについて、8月9日と食中毒の心配からお休みの間の見守りとして、民生委員や配達ボランティア等の協力を得て、お茶菓子を持ちながら訪問を実施した。

★課題

24時間テレビの福祉車輛が届き、貸し出しできる車の6台のうちスロープ付きの車が4台となった。現在のところ、榛原事務所に置かれているスロープ車がAZワゴン1台の為、車輛の配置について検討を行う必要がある。

給食サービス、ふれあい食事会を希望され参加される方は良いが、出てこられない、給食サービスの存在を知らないなどの方を、どのように巻き込んでいくかが課題である。また、給食サービス利用者の現状を把握し、サービスのあり方を検討する。

施策7 次世代への支援の充実

(1)行政と連携し、子育てに関する相談体制の充実を図った。

行政や主任児童委員と一緒に、相談体制について支援冊子にまとめた。

(2)子育て支援冊子の作成。

行政やお母さん方と一緒に、子育てに関する情報をまとめた冊子を作成した。

(3) 地域で子育て支援が行える体制の整備の取り組み。

① 児童館まつりに参加

相良児童館、榛原児童館を会場に、子ども達のふれあいや地域との交流を目的に開催された児童館まつりに、社協は模擬店(ポップコーン販売)に参加し、ボランティア情報誌の配布をした。

【8月6日】相良児童館まつり 職員2名 ボランティア3名参加

【8月6日】榛原児童館まつり 職員2名 ボランティア3名参加

② 補助金の交付

子ども会連絡協議会の活動費に、共同募金より補助金として交付した。

【補助金額】200,000円

(4) のびのび子育て井戸端会議を継続、実施。

① のびのび子育て井戸端会議の活動

子育て中の母親達の交流の場として、また、子どもに安心して楽しく遊べる場を提供するなど、子育てを支援するために、主任児童委員やボランティアの協力をいただき開催した。

【参加者】98組の親子(延べ212名/大人98名・子ども114名)

☆評価

参加者同士で交流し情報交換し子育てを楽しむ場所となっている。また、お母さんボランティアが主体となって活動をするよう実施している。そして、民生児童委員が気軽に声をかけることで育児ストレスの軽減が図れている。

☆課題

子育て支援センターやサークル等親の出る場所が増えている中で、のびのび子育てのあり方の検討が必要。また、親の居場所づくりのあり方や相談機関へのつなげ方についても検討が必要。

基本目標Ⅱ 活動の輪を広げるまちづくり

施策1 地域や学校における福祉教育の推進

(1) 福祉教育学校連絡会を開催し、福祉教育の推進と充実を図った。

【11月17日】市内小・中・高校へむけて、福祉教育内容の紹介や車いす等の備品の紹介をした。また、各学校での福祉・ボランティア活動等の取り組みを発表してもらい、共有をした。

(2) 学校や関係機関と連携し、福祉体験学習の充実を図った。

① 福祉体験学習への支援

市内小・中学校からの依頼で、講話・車椅子・アイマスク体験等を実施し、福祉に対する理解が深まるようサポートした。

【6月16日・6月17日・1月26日】相良小学校5年生 90名

【6月20日・6月23日・6月28日・7月5日】細江小学校4年生 89名

【6月2日・6月24日・6月30日】相良中学校3年生 150名

【6月6日】萩間小学校4年生 17名

【6月7日・6月16日】坂部小学校6年生 18名

【11月29日・1月31日】地頭方小学校4年生 34名

【12月8日】菅山小学校3年生 21名

(3) 障がい者(児)への正しい理解を推進。

自立支援ネットワーク等の会議へ出席し、職員が勉強を行い福祉教育ハンドブックに反映させた。

(4) 福祉教育ハンドブックの改定の計画。

担当職員間において、ハンドブック検討会を開催し、改定に向け、話し合いを重ねた。

(5)福祉体験講座を実施。

- ①ふくし体験講座の実施
再掲(I - 3 - (1) - ②) (P6)

(6)みんなの描く福祉作品コンクールを実施。

- ①みんなの描く福祉作品コンクール
福祉の啓蒙を図るため、125名の応募を得て、みんなの描く福祉作品コンクールを開催した。
◇作文の部 応募者 49名
◇図画の部 応募者 76名

☆評価

福祉作品コンクールでは、本年度も多くの参加があった。体験講座では、車いすを使ってスーパーでの買い物体験、またアイマスクをしてバス昇降体験をした。障がいの方の体験を通して、生活の不自由さ等、参加した児童から感想が聞かれた。

☆課題

福祉教育について、全小中高校からの依頼があるようにしたい。ふくし体験講座は、募集人数以上の参加者になり、体験会場の検討が必要だと思った。

施策2 ボランティア・地域活動等の参加促進

(1)アンケートや懇談会を開催し、地域のボランティアニーズを把握します。

福祉総合相談や地域に出向いていく中で、地域に必要なニーズの把握を行っている。また、サロンなどにおいて協力員にアンケートを行うことで、ニーズを拾っている。

(2)ホームページや広報紙を活用して、ボランティア情報を発信。

- ①広報活動
再掲(I - 4 - (2) - ①②③④⑤) (P7)

②ボランティア連絡会

個人登録制と団体登録制の2種類がある。事業としてもふれあい運動会や視察などを実施している。また、市内福祉施設の夏祭り等の当日ボランティアとしても参加し、交流を図っている。

個人登録 登録実人員 16名

団体登録 24団体 会員数延べ 583名

No.	グループ名	人数	主な活動場所	活 動 内 容
1	オムレツくらぶ	22	さざんか	給食サービス事業の調理ボランティア
2	音訳サークルやまびこ	6	さざんか	目の不自由な方へ、市の広報誌をテープへ吹き込む
3	手話サークル“フレンド”	9	さざんか	手話を覚える、ろうあ者との交流
4	かえでグループ	9	市内	高齢者健康サポート(サロン活動、高齢者の話相手)
5	運転ボランティア「どこでもカー」	13	市内	障がい者の外出支援

No.	グループ名	人数	主な活動場所	活 動 内 容
6	生きがいリーダー連絡協議会	50	市内	介護予防を展開する中で、地域のよりよい健康、生きがい、地域づくりの推進を図る
7	牧之原市まちづくり実行隊	19	市内	おやじの会による親子ふれあい活動、勝間田川流域の環境保全活動、障がい者福祉活動サポートの実施
8	茶っこクラブ	13	市内	健康づくり活動、花の会活動、手芸活動
9	うぐいす	6	市内	老健施設でのハーモニカ演奏
10	静波一丁目消防奉仕隊	24	地内	一丁目内の消防施設消火栓点検など
11	すまいる	7	市内	レクリエーション他
12	一丁目龍友会	58	市内	龍眼山等の清掃活動
13	花の会	210	市内	市内の花壇への植栽、手入れ 花やみどりの講座の開催
14	ハートプラス・プロジェクト	9	市内	一般市民への救命手当・応急手当普及活動
15	おはなしクラブ	15	市内	市内小学校での読み聞かせ、朗読劇等の企画上演、おはなし会等の開催、児童クラブ催し物等への協力
16	牧之原そいそわの会	6	市内	福島原発事故によって県内へ避難移住している方への支援、福島県周辺から市内(県内)へ保養(放射線からの保養に限る)来る方への支援
17	あった歌・会	12	市内 御前崎市他	施設訪問をし、主にカラオケ・寸劇等を行う
18	作業部会	9	こづつみ作業所	陶器の転写紙貼り、下請け部品組立作業手伝い・各行事への協力
			第2こづつみ作業所	下請け部品組立作業手伝い・各行事への協力
19	介助部会	4	つくしの家・ つくしホーム	パターニングの手伝い・各行事への協力、圏外療育(主に散歩)の手伝い・各行事への協力
20	調理部会	12	保健センター	毎月2回のひとり暮らし高齢者給食サービスの調理
21	浜岡原発を考える牧之原市民の会	11	市内	原子力災害が発生した場合の避難方法等を学び、一般に向けて学習会を行う。
22	三歳児家庭教育学級 託児ボランティア	18	市内	三歳児家庭教育学級での託児、学習会補助
23	牧之原市消費者協会	26	市内	啓発事業
24	牧之原市災害ボランティアコーディネーター	15	市内	災害ボランティアセンター立ち上げ訓練、市民への災害時ボランティアの必要性のPR活動等

(3)活動者や地域との連携を強化するなど、ボランティアコーディネート体制の充実。

ボランティア連絡会の会議に参加するなどし、情報収集や事業連携などを行っている。
また、ボランティア活動を活発化させるため、社協にボランティアコーディネーターを配置し、ボランティア連絡会を中心とした活動の活発化を図った。

①エコキャップ運動の推進

ペットボトルキャップのリサイクル活動に参加することによって、環境や貧困など、世界が直面する様々な課題について、学び、考え、行動する機会を提供する活動を行った。

【回収総重量】 2,239.5kg (29団体・2個人)

【回収個数】 944,535個

【ワクチン】 1,180.7名分

(4)傾聴ボランティアの養成を検討。

NPO団体が実施する事業へ後援した。

(5)地域で必要とされているボランティアの養成講座を実施。

地域福祉の担い手に、個人の得意分野を生かす場所を提供した。また、生活に困っている方のニーズ(洋服の縫い物等)に応じた活動として「チクチクぬいぬいボランティア養成講座」を実施した。

【4月4日、22日、5月13日】相良総合センターい〜ら ボランティア用簡単キャップ作り
(19名) (9名) (13名)

【9月8日】相良総合センターい〜ら ふれあい広場景品づくり 12名

【3月24日】社協マスコットキャラクター「マッキーちゃん」お手玉ぬいぐるみづくり

(6)ふれあい運動会を実施し、ボランティア活動への参加の機会を提供し、ボランティアの交流。

①ふれあい運動会の充実

毎年、地区を変え小学校を会場に年代、障がいの有無に関わりなく交流し、お互いに何かを感じ取ってもらおうと、ボランティア連絡会が主催し行った。

【6月18日】片浜小学校体育館 62名 3福祉施設、牧之原市身体障害者福祉会

★評価

ふれあい運動会を今年度末で廃校になる片浜小学校で行ったため、多くの参加者があった。今後もボラ連と一緒に運営していきたい。

エコキャップについては、かなり市民に浸透している。学校等教育の場だけでなく、個人や企業でも収集し、持参してくれる。

★課題

ふれあい運動会は今年で11回目となり、内容の見直し等検討が必要。エコキャップなど収集の情報は広まったが、シールをはがすなどのルールが守られていないところもあるため、情報提供を徹底していきたい。また、エコキャップ回収業者に、持ち込みをしなければならず、時間がかかることと、職員が2名で対応しなければならない。

施策3 地域資源の確保・活動推進

(1) 地区社会福祉協議会の運営支援、未設置地区への設立。

6地区社協の事業(楽らくクラブ等)への運営支援を行っている。また、未設置の相良地区については、法人内で設置に向け検討を続けている。

(2) 地区活動の支援として補助金を交付。

25区に活動費として約180万円、市民からいただいた会費の中から補助金を交付している。

(3) ふれあい・いきいきサロン事業の推進、支援を行った。

① ふれあい・いきいきサロン事業の充実(43サロン)

各区でのふれあい・いきいきサロン事業の充実及び支援を図った。それによって、地域住民と高齢者等との交流が活発になった。

区分	相良区	福岡区	地頭方区	波津区第2ブロック	新庄区
名称	生き生きクラブ	生き生きクラブ	はつらつクラブ	ほのぼの会	憩いクラブ
開設年月	平成9年6月	平成9年6月	平成10年6月4日	平成11年7月4日	平成11年9月8日
開催日	毎月1回 第1月曜日	毎月1回 第3月曜日	毎月2回 第1・3木曜日	毎月1回 第1日曜日	毎月1回 概ね15日
開催時間	13:00～15:00	13:00～15:00	13:30～15:30	9:30～11:30	13:30～15:00
場所	相良区コミュニティ 防災センター	相良区コミュニティ 防災センター	地頭方区公民館	波津区公会堂、波津コ ミュニティーセンター	トーク地頭方
対象者	相良区・福岡区 及び近隣地区の 概ね70歳以上の 方	相良区・福岡区 及び近隣地区の 概ね70歳以上の 方	区内に移住する 概ね80歳以上の 方	75歳以上又は若 くて引きこもりの 方	区の65歳以上の 高齢者
延参加者	298名	239名	344名	376名	345名
延協力員	167名	151名	178名	60名	74名
代表	西尾 仁男	北川 幸克	櫻井壽恵男	小澤 幸吉	清水 すゑ

区分	波津区第1ブロック	大沢区	白井区	須々木区	片浜区
名称	にこにこ会	もんじゅの会	いきいきサロン	お元気クラブ	ふれあいクラブ
開設年月	平成11年9月19日	平成11年10月8日	平成11年12月16日	平成12年4月7日	平成12年8月22日
開催日	毎月1回 第3金曜日	毎月1回 第3金曜日	毎月1回 第3木曜日	毎月1回	毎月1回 15日
開催時間	13:30～15:00	13:30～15:30	13:30～15:30	13:30～15:00	9:00～11:30
場所	静和会館	大沢公民館	白井公民館	須々木区区民館	片浜防災セン ター
対象者	概ね70歳以上の 方	概ね65歳以上の 方	60歳以上の方	区の70歳以上の 方	区の高齢者
延参加者	129名	138名	241名	208名	189名
延協力員	52名	93名	56名	139名	88名
代表	松下 全代	牧野 祐子	中田 二三男	西川 宣男	森下 吉次

区分	波津区第3ブロック	西萩間区	大江区	菅山区	牧之原区
名称	ほほえみ会	子生まれクラブ	大海老会	油会クラブ	茶の実クラブ
開設年月	平成12年8月30日	平成12年9月15日	平成13年3月	平成13年3月	平成14年2月26日
開催日	毎月1回 30日	毎月1回 第3水曜日	毎月1回 第1木曜日	毎月1回 20日前後	毎月1回 第3火曜日
開催時間	9:00～11:30	13:00～16:00	13:30～15:30	13:30～15:30	13:30～15:30
場所	波津区公会堂	西萩間公民館	大江区民会館	菅山区公民館	牧之原区民センター
対象者	概ね65歳以上の 方	概ね75歳以上の 方	概ね70歳以上の 方	区の高齢者	65歳以上の方
延参加者	86名	199名	338名	258名	271名
延協力員	78名	48名	66名	145名	117名
代表	羽田 智行	藤野 幸雄	今村 博志	増田 文男	樽林 初夫

区分	遠渡区	豊岡区	落居区	東萩間区(上)	東萩間区(下)
名称	サンサンクラブ	いきいきサロン豊岡	落ち合いサロン	笑和クラブ	いきいき東
開設年月	平成14年5月26日	平成14年5月29日	平成14年9月30日	平成14年10月11日	平成14年10月11日
開催日	毎月1回 10日	毎月1回 15日	毎月1回	毎月1回 第2水曜日	毎月1回 23日
開催時間	13:30～15:00	13:30～15:00	13:30～15:30	9:00～11:30	9:00～11:30
場所	遠渡公民館	豊岡公民館	落居公民館	東萩間上公民館	東萩間下公民館
対象者	区の高齢者	概ね65歳以上の 方	概ね65歳以上の 方	概ね70歳以上の 方	概ね75歳以上の 方
延参加者	192名	249名	346名	185名	238名
延協力員	102名	48名	-	32名	36名
代表	松下 律子	小川 弘廣	植田 利夫	小笠原 博	中家 弘美

区分	中里区	神寄区(大寄)	神寄区(女神)	波津区第4ブロック	勝間田区
名称	にっこりサロン	大の字クラブ	すこやかクラブ	ハッピークラブ	ほがらかサロン
開設年月	平成15年1月	平成15年1月	平成15年1月	平成15年7月1日	平成11年5月
開催日	毎月1回 第2金曜日	毎月2回 第2・4水曜日	①第2金曜日 ②第4日曜日	毎月1回 第1火曜日	毎月4回 毎週木曜日
開催時間	13:30～15:00	13:30～15:00	①13:30～15:30 ②10:00～11:30	10:00～12:00	9:00～11:00
場所	萩間公民館	大寄公民館	女神公民館	大原公民館	勝間田会館
対象者	概ね65歳以上の 方	概ね60歳以上の 方	概ね65歳以上の 方	65歳以上の方	65歳以上で健康 な方
延参加者	120名	356名	417名	194名	1,903名
延協力員	46名	112名	64名	37名	220名
代表	稲見 均	横山 夏日子	後藤 教夫	栗山 清	大関 小佳枝

区分	静波区	川崎区	坂部区	細江区	勝間田区
名称	すこやかサロン	仁田スマレ会	坂部ふれあいサロン	はつらつサロン東福	サロンマカミ
開設年月	平成13年5月	平成13年11月	平成14年4月	平成14年6月	平成14年9月
開催日	毎月2回 第1・3火曜日	毎月1～2回 第2日曜日	毎月3回 第1・2・3金曜日	毎月1回 第2火曜日	毎月10日・20日 第1土曜日
開催時間	9:30～11:30	9:00～13:00	9:00～11:30	9:30～11:30	9:00～12:00
場所	老人福祉センター	仁田公民館	坂部区民センター	東福田公会堂	間上老人憩いの家
対象者	65歳以上の方	65歳以上の高齢者	65歳以上の元気な方	町内会高齢者	80歳以上の方
延参加者	277名	116名	1,278名	138名	123名
延協力員	89名	63名	359名	65名	12名
代表	大石 美春	永田 政子	吉添 悦子	大井 照恵	鈴木 常夫

区分	川崎区	細江区	静波区	細江区	静波区
名称	橋向さくら会	時ヶ谷サロン	サロンのぞみ	東慶林ふれあいサロン	ふれあいサロン3丁目
開設年月	平成15年10月	平成19年12月	平成20年2月	平成20年7月	平成20年4月
開催日	毎月1回 第4水曜日	毎月1回 第3木曜日	毎月2回 第2・4水曜日	毎月1回 第1木曜日	毎月1回 第4水曜日
開催時間	13:00～15:30	9:30～11:30	13:30～15:30	10:00～11:30	10:00～12:00
場所	橋向公民館	時ヶ谷公民館	静波コミュニティ防災センター	東慶林コミュニティセンター	3丁目公会堂
対象者	65歳以上の一人暮らし世帯(障がい者)と70歳以上の高齢者	時ヶ谷町内70歳以上の居住者	65歳以上の方	町内会の65歳以上の方	町内会の65歳以上の方
延参加者	391名	277名	178名	334名	179名
延協力員	-	60名	65名	80名	25名
代表	柴本 榮	原川 正志	増田 恵美子	八木 明美	八木 末子

区分	細江区	川崎区	牧之原区	静波区	静波区
名称	堀の内草の実サロン	サロンひまわり	まきのはらいきいき教室	凜・百花春サロン	はつらつ会
開設年月	平成21年2月	平成23年8月	平成8年6月	平成26年4月	平成18年4月
開催日	毎月1回 第3火曜日	毎月1回 第3水曜日	毎月4回 第1～4火曜日	毎月1回 第2木曜日	毎月2回 第1, 3金曜日
開催時間	13:30～15:30	13:30～15:30	9:00～12:00	10:00～11:45	9:30～11:30
場所	堀之内研修センター	仁田公民館	牧之原区コミュニティセンター	11丁目公民館・中川自宅	さざんか1階ホール
対象者	町内会の高齢者	仁田在住の65歳以上の方	区内65歳以上の方	静波区の幼児からお年寄りまで他世代	区内65歳以上の方
延参加者	199名	189名	735名	193名	664名
延協力員	27名	31名	50名	42名	119名
代表	伊藤 睦子	羽生 正子	大崎 信博	中川 松枝	水野 多津江

区 分	坂部区	地頭方区	静波区
名 称	坂2井戸端亭	ビタミンスクール	はづき会
開設年月	平成26年9月	平成27年4月	平成28年4月
開催日	毎月1回 10日	毎月4回 金曜日	毎月1回 毎月10日
開催時間	13:30～15:00	9:00～11:30	9:00～11:30
場 所	岩昌寺	トーク地頭方	4丁目公民館
対象者	町内会の高齢者	区内高齢者	65歳以上の住民
延参加者	271名	1,347名	252名
延協力員	156名	16名	77名
代 表	大石 鉄男	山下 公夫	本杉 郁代

サロン数 43サロン 延べ参加者数 15,000名 延べ協力員数 3,545名

②サロン事業連絡会の開催

牧之原市内のサロン事業の推進を目的にサロン事業連絡会を開催し、各地域のサロン代表者間の交流を行い意見交換を行った。

【4月14日】相良総合センターい〜ら 44名

③サロン作品展の開催

例年、作品展を開催していたが地域の負担も考慮して、今後、社会福祉大会に併せ2年に1回開催をしていくこととした。

(4)市民の誰もが参加できる、多様なサロン事業の検討。

サロンは高齢者の集まりではなく、誰もが参加できる形を目指し子どもから高齢者までいる複合型や、子育て中のお母さんを中心としたサロンなど、多様なサロンづくりの推進を行った。地域の子どもから高齢者までが一緒にいることが当たり前のサロンになっていけたらと考えている。

①新規参加者及び団体への対応

集まる場所についての問い合わせや、開催についての問い合わせがあった際には、立ち上がりまでの支援など必要に応じて実施した。

★評価

サロン活動は1ヶ所が新規登録をした。登録はしていなくても、自主的に地域で活動されているグループも継続できており、定期的に支援していくことが必要であると考えます。

★課題

サロン活動については、協力員不足や高齢化が問題となっており、新規ボランティアの獲得を講座やロコミなどで行う必要性を感じる。

基本目標Ⅲ 助け合い・支え合いの仕組みづくり

施策1 市民参加型の小地域福祉活動の推進・支援

(1) 地区社会福祉協議会活動を支援し、未設置地区への設立。

再掲(Ⅱ-3-(1))(P15)

(2) 地区代表者連絡会を開催し、ネットワークづくりや情報交換等、地域活動の支援を実施した。

①地区代表者連絡会の開催

地域のサロンへ参加し、区の代表者の方などに直接話をするこゝで、連絡会の代わりとした。

(Ⅲ-3-(4)-②)(P22)

(3) 三世代交流事業を継続、実施。

再掲(Ⅱ-2-(6)-①)(P14)

(4) 福祉施設交流会を継続、実施。

①福祉施設交流会の充実(7施設)

市内7施設の通所者を中心にパン食い競争や人形劇など、施設の枠を超え交流会を実施した。

【9月23日】相良総合センターい〜ら 207名

(5) 世代間の交流、障がい者(児)との交流。

再掲(Ⅱ-2-(6)-①)(P14)

(6) 市内すべての市民がふれあえる、ふれあい広場の開催を継続。

①さざんかふれあい広場の開催

牧之原市の保健と福祉の拠点を活かし、子どもや高齢者、障がい者等、住民の誰もが参加し、ふれあいを楽しむことができることを目的に開催した。

【10月2日】総合健康福祉センターさざんか

★評価

施設交流会は、全施設の行事予定が合う日がなく1施設が不参加となったが、当日はコンサートにパン食い競争、交流ゲームと各参加者の笑顔が見られた。

★課題

施設交流会は、もともと障害者の方の出かける場や楽しめる行事が少なかった時代に企画され、現在まで行われてきている。現在、施設ごとの行事予定は多くある中で福祉施設交流会のあり方が問われているが、楽しめる場の1つとしての存続の声が多くある状況にある。その都度、担当者を交える中で、事業の在り方や今後の展望について話し合いを行い、共通認識を図る中で形の変更も視野に入れるアプローチを行う必要がある。

施策2 生活困窮世帯等への支援ネットワーク体制の強化

(1)生活困窮者自立支援事業を実施。生活困窮状態に陥っている方の自立へ向けた相談窓口として支援を行った。

①相談受付状況

相談件数		相談対応詳細	
相談受付件数	108件	電話連絡	332件
事業申込件数	31件	訪問、同行支援	322件
プラン策定数(再プラン含)	56件	面談	327件
家計再生プラン策定数	19件	生活保護受給者等就労自立促進事業利用	14名
終 結	29件	フードバンク利用回数	32回

※終結・・・就労でき収入が増加したことで生活の安定(21件) 転居(3件)

障害年金が取得でき、生活支援センターへ繋いだ(2件) 家計整理でき生活が安定(1件)

生活保護を受給(2件) ⇒子育て世帯であり生活が成り立たなくなった・病状悪化により医療を受ける必要がある

②支援調整会議

相談者に対しての支援内容となるプランについて、行政及び関係機関と協議、決定する場として毎月第2、4火曜日に実施した。また、定期的の実施することにより、再プランや終結の判断等、進捗管理の役割も果たしたことに加え、終結後の関係機関による役割分担等の機能も担っている。

支援調整会議 24回実施

(2)生活困窮世帯に対し、自立するために必要な資金を無利息で貸付する福祉資金貸付事業の相談を行った。

①県生活福祉資金貸付事業

種 類	貸付限度額	区 分	現年度貸付額	過年度貸付額	償還額	繰越滞納額
福祉資金	580万円以内	金額	0	850,000	574,590	275,410
		件数	0	2	2	2
緊急小口資金	10万円以内	金額	0	950,000	333,330	616,670
		件数	0	13	9	13
教育支援資金	50万円以内	金額	0	19,054,800	11,030,800	8,024,000
		件数	0	13	11	13
不動産担保型生活資金	月30万円以内	金額	0	0	0	0
		件数	0	0	0	0
総合支援資金	60万円以内	金額	0	9,839,423	1,424,598	8,414,825
		件数	0	24	14	24
臨時特例つなぎ資金	10万円以内	金額	0	170,000	35,000	135,000
		件数	0	2	1	2
合 計		金額	0	30,864,223	13,398,318	17,465,905
		件数	0	54	37	54

※利率は資金の種類によって無利子から年3%、償還期間は2ヶ月から20年以内とする。

②市福祉資金貸付事業

種 類	貸付限度額	区 分	当年度分				過年度分				欠損額	残高
			貸付額	償還額	未償還額	滞納額	未納残額	償還額	未償還額	滞納額		
一般 資金	10万円 以内	金額	110,000	60,000	50,000	0	673,250	23,000	0	650,250	0	700,250
		件数	3	2	1	0	10	2	0	10	0	11
高額療 養資金	100万円 以内	金額	0	0	0	0	190,130	190,130	0	0	0	0
		件数	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0
介護保 険資金	20万円 以内	金額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計		金額	110,000	60,000	50,000	0	863,380	213,130	0	650,250	0	700,250
		件数	3	2	1	0	11	3	0	10	0	11

(3)地域において自立した生活が送れるよう、日常生活自立支援事業、成年後見人制度の相談、支援を行った。

①日常生活自立支援事業(権利擁護事業)

判断能力が十分でない方が、できるだけ住み慣れた地域で自立して生活できるように、福祉サービスの利用援助や日常的金銭管理を実施した。

【専門員の配置】9名(兼務)

【生活支援員の配置】7名

【相談及び契約件数】

区 分	本事業の利用に関するもの				その他	合 計
	認知高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他		
相談件数	227	104	196	66	0	593
契約締結件数	0	0	0	0	0	0
実働件数	5	5	3	2	0	15

★評価

今年度より自立相談支援事業に加え、家計相談支援事業を0.5人工で受託したため他事業との兼務という形で配置された。主に自立相談支援事業にて伴走を行い、ある一定の生活の安定が見られたところでの繋ぎやすでに就労できているケース、債務整理を必要とするケースなどを担当としている。生活困窮者支援を行う上で相談の出口としての役割だけでなく、司法関係者や関係機関(行政や業者等)との連携を担うため相談の幅が広がることができた。

社協にて伴走するケースが増えており、訪問に関しては昨年度の倍となっている。社協が自立相談支援事業と家計相談支援事業の両事業を受託していることで前年度に比べ、プラン件数1.5倍、自立に向かったケース3倍となっている。

★課題

貸付については長期間滞納者への償還指導を根気よく継続していく必要がある。県社協貸付については、訪問するなかで生活困窮自立支援へ繋げたケースもあった。

生活困窮者支援を行っていく上で多重債務や虐待等、複合的な課題を抱えているケースや、50代～60代前半の就労支援を必要とするケースが増えてきている。自立相談支援機関や家計相談員だけで対応していくことは難しく、今後牧之原市における地域課題となってくる可能性が高い。自立相談支援機関だけでなく、関係機関や地域を巻き込んだ展開を行っていくためにも、地域課題となるケースの積み重ねをしていく必要がある。

施策3 地域包括ケアシステムの推進と福祉の連携と協働の強化

(1) 地域包括ケアシステムの検討。

地域福祉課や介護保険事業所などと連携を密にとり、今後の事業展開についても包括的に行えるよう、所属長会議などを行った。

(2) 住民組織と連携し、地域での見守りネットワークを実施。

市が行っている「見守り隊」に参加協力し、地域での見守りを行っている。また、今後行う住民アンケートにより必要な対策を行いたいと考えている。

(3) 多問題ケースへの対応について関係機関と連携を図った。

生活困窮と介護など、多問題ケースについては包括や居宅など、関係機関とのケア会議を開催している。

(4) 生活支援サービス事業を実施。

介護保険制度の改正における生活支援サービスの充実・強化に向け、高齢者の社会参加の場や、ボランティア、NPO等による多様な生活支援サービスが利用できる地域づくりを目指し、ボランティア等生活支援の担い手の養成や地域資源の開発を行った。

① 地域支え合い推進員事業打合せ

事業を実施するにあたり、現状の確認と今後の方針について共有することを目的に、行政との打ち合わせ会を行った。

・地域支え合い推進員活動事業打合せ 23回

② 地域福祉フォーラムの開催

介護保険事業の改正に伴う地域での支え合いの必要性について、市民を対象に啓発することを目的に地域福祉フォーラムを実施した。

【8月18日】相良総合センターい〜ら 335名

1. 基調講演「みんなで支え合う地域をつくろう」 さわやか福祉財団 会長 堀田 力 氏
2. 支え合い活動事例紹介 さわやか静岡
3. 堀田力氏と西原市長との対談

③ らいふサポーター養成講座の実施

牧之原市内の生活支援体制の充実を図るための担い手養成として、高齢者支援を実施するうえでの基本的な知識や技術を学ぶことを目的とした“らいふサポーター養成講座”を実施した。

前期

- 【5月30日】 第1回(共通1回) 牧之原市の高齢者のことを知ろう! 14名
- 【6月6日】 第2回(共通2回) 知っておくと便利! 高齢者の簡単な介護 13名
- 【6月13日】 第3回(グル1回) 地域の集いの場での生きがいづくり! 12名
- 【6月20日】 第4回(共通3回) 知って納得! 高齢者との接し方 15名
- 【7月4日】 第5回(お宅1回) 高齢者宅での生活支援活動について 10名
- 【7月19日】 第6回(お宅2回) 高齢者の身体の変化と食生活について/訪問時のコツを伝えます 5名
- 【7月25日】 第7回(グル2回) エンジョイ! レクリエーション体験 15名
- 【8月1日】 第8回(共通4回) 事故への対応と日頃からの備えについて/犯罪被害者対策について/個人情報について 14名
- 【8月8日】 第9回(共通5回) みんなで考えよう! わたしがして欲しいこと、わたしができること 14名
- 【8月24日】 第10回(お宅3回) チャレンジ! お宅訪問(実践) 9名
- 【8月29日】 第11回(グル3回) チャレンジ! みんなでやってみよう!(実践) 13名
- 【9月5日】 第12回(共通6回) 地域包括支援センターの紹介/地域の活動紹介 16名

受講者 グループサポーター16名(14名) お宅サポーター10名(10名)

※実人数17名、()は修了者数

後期

- 【11月25日】第1回(共通1回) 牧之原市の高齢者のことを知ろう！ 13名
- 【12月2日】第2回(共通2回) みんなで考えよう！わたしがして欲しいこと、わたしができること 12名
- 【12月16日】第3回(共通3回) 介護予防と簡単な介護 10名
- 【12月22日】第4回(共通4回) 知って納得！高齢者との接し方 11名
- 【1月13日】第5回(共通5回) 事故への対応と日頃からの備えについて/犯罪被害者対策について/個人情報について 11名
- 【1月26日】第6回(グル1回) 地域の集いの場での生きがいづくり！ 10名
- 【2月2日】第7回(お宅1回) 高齢者宅での生活支援活動について 12名
- 【2月9日】第8回(グル2回) エンジョイ！レクリエーション体験 9名
- 【2月23日】第9回(お宅2回) 高齢者宅での高齢者支援について 16名
- 【3月2日】第10回(グル3回) チャレンジ！みんなでやってみよう！（実践） 9名
- 【3月9日】第11回(お宅3回) チャレンジ！お宅訪問(実践) 13名
- 【3月16日】第12回(共通6回) 地域の活動紹介/今後の活動について 10名

受講者 グループサポーター9名(5名) お宅サポーター12名(9名)

※実人数9名、()は修了者数

④サポーターフォロー事業

らいふサポーター養成講座のグループサポーター課程の修了者を対象に、活動意欲の維持と今後の活動へ繋げることを目的とし、フォロー講座を実施した。

- 【3月4日】袋井市“もうひとつの家”視察 8名

⑤高齢者の出掛ける場の実態調査

平成27年度に実施した地域現状調査で、シニアクラブへの聞き取り調査を行ったが、シニアクラブの必要性が薄れてきている状況であったため、高齢者の求めている『出掛ける場』を把握することを目的として、市のシニアクラブを脱退したが地域で活動を継続している単位シニアクラブや、高齢者の出掛ける場所となっている活動への実態調査を行った。

No	区/町内会	名称	実施日	場所	内容
1	1丁目	きんもくせい	7月1日	せせらぎ公園	ラジオ体操
2	蛭ヶ谷	緑風会	7月2日		旧シニアクラブ活動
3	女神	悠和会	7月3日		旧シニアクラブ活動
4	大江		7月3日		グラウンドゴルフ
5	朝生		7月10日	朝生公民館	旧シニアクラブ活動
6	道場	ふれあいデー	7月17日	道場公民館	将棋、カラオケ、バザー、惣菜販売
7	菅山	寿友会	7月20日		旧シニアクラブ活動
8	道場	美濃利会	7月28日	道場公民館	旧シニアクラブ活動
9	相良	相良区GG愛好会	7月28日	老人会館東側グラウンド	グラウンドゴルフ
10	東慶林	頭寿会	8月2日	東慶林公園	旧シニアクラブ活動
11	東福田	東福田(吉田町新田グループ)	8月12日	神明神社	グラウンドゴルフ
12	東福田	東福田21日会	8月21日	東福田公民館	旧シニアクラブ活動
13	東福田	東福田GG愛好会	8月21日	神明神社	グラウンドゴルフ
14	勝間下		8月30日	勝間下公民館	旧シニアクラブ活動
15	中里	グラウンドゴルフ愛好会	9月14日		グラウンドゴルフ
16	落居	長生会	9月17日	落居公民館	旧シニアクラブ活動
17	片浜	仲良し会	10月7日	大磯集会所	歌、塗り絵、手芸等
18	庄内	伯友会	10月6日	庄内公民館	旧シニアクラブ活動
19	切山下		10月19日	荒谷公民館	輪投げ、おしゃべり

⑥給食ボランティアフォロー講座

平成27年度養成した食事づくりボランティアへのフォローアップとして、給食サービス事業の食事づくりや地域での食を通じた出掛ける場づくり、など活動についての情報提供や会員同士の交流の機会を提供し、“あい♡クック”ボランティアグループを結成して今後の活動実施への意欲を高めた。

- 【4月28日】第1回 給食ボランティア交流会 22名(あい♡クックボランティア10名)
- 【5月13日】第2回 あい♡クックボランティア交流会 12名
- 【6月7日】第3回 あい♡クックボランティア交流会 9名
- 【7月22日】第4回 給食ボランティア講習会 7名
- 【8月9日】第5回 あい♡クックボランティア交流会 7名
- 【8月29日】第6回 相良地区ふれあい食事会 10名
- 【10月13日】第7回 あい♡クックボランティア交流会 6名
- 【10月26日】第8回 集いの場の実践、食事提供 11名
- 【2月24日】第9回 あい♡クックボランティア交流会 9名

⑦サロン協力員ステップアップ研修

サロン協力員の負担軽減と意欲向上を目的に、介護予防の視点を取り入れたサロン協力員のステップアップ研修を実施し、理学療法士を講師に招き普段サロンで実施している活動に対し、アドバイスをもらう機会を提供した。

・サロン協力員ステップアップ研修

- 【6月28日】相良総合センターい〜ら 38名
- 【1月30日】総合健康福祉センターさざんか 17名

⑧地域資源マップづくり

ふれあいいいききサロンをはじめとする高齢者の出掛ける場や、地域の活用可能と思われる拠点について地図に記載することで見える化し、隣接する区や町内会同士による支援や課題等への気づきの機会とすることを目的として、地域資源マップづくりを実施した。

- 【9月15日】勝間田地区 勝間田会館 21名
- 【10月17日】牧之原地区 牧之原コミュニティセンター 21名
- 【10月28日】細江区 細江コミュニティセンター 26名
- 【11月11日】須々木区 須々木区公民館 8名
- 【11月14日】大沢区 大沢公民館 6名
- 【11月16日】菅山区 菅山小学校仮事務所 19名
- 【11月17日】静波区 静波コミュニティー防災センター 20名
- 【11月18日】波津区 波津コミュニティーセンター 24名
- 【11月22日】福岡区 福岡区公民館 9名
- 【11月28日】萩間地区 萩間公民館 21名
- 【12月5日】片浜区 片浜コミュニティー防災センター 20名
- 【12月6日】大江区 大江区民会館 12名
- 【12月14日】坂部区 坂部区民センター 18名
- 【1月16日】相良区 相良コミュニティー防災センター 13名
- 【2月5日】地頭方地区 トーク地頭方 27名

⑨サポーター派遣事業(仮)の検討

高齢者のちょっとした困りごとへの支援策として、ホームヘルパー、包括支援センターと検討を重ね、サポーター派遣事業『あるたす』を策定。平成29年度の実施に備え、モデル実施を行った。

・事業検討

【9月7日】生活支援サポーター派遣事業(仮)の実施に向けて 6名

【10月14日】生活支援サポーター派遣事業(仮)について 6名

・モデル実施

対象者2名、13回実施 サポーター 9名(延べ22名)活動

※新年度からの事業実施に向け18名がサポーター登録

⑩地域支え合い活動協議体の実施

フォーラム参加者や関係機関を交え勉強会を行うことで協議体への理解を深め、地域支え合い活動協議体の実施に繋がった。

【10月15日】第1回地域支え合い活動勉強会 46名

【11月21日】第2回地域支え合い活動勉強会 40名

【1月15日】第3回地域支え合い活動勉強会 36名

【3月13日】第1回地域支え合い活動協議体 28名

⑪地域支え合いアンケートの実施

支え合い活動に対する意識啓発と、担い手と成り得る人材の発掘を目的に、各世帯にアンケート調査を実施した。

★評価

地域支援事業については、社協だけが検討するものではなく、市や関係機関と連携していくことが重要と考えている。そのため、行政との打ち合わせを重ね、お互いに共通認識がずれないようにしてきた。

生活支援コーディネーターの活動として、啓発、ボランティア育成、情報の把握、等を中心に、昨年度の調査や実施結果を踏まえ、継続した考えの基に活動を実施した。

また、今後の生活支援の体制整備に向け、サポーター派遣事業“あるたす”のモデル実施や、地域支え合い活動協議体を実施することができた。

★課題

生活支援コーディネーターとして、それぞれの事業を実施してきたが、地域での支え合いを広げていくにあたり、各地域における課題を共有し支援策を検討していくこととなるが、まずは地域のニーズを集約する機能が必要であり、榛原、相良の両地区においてどのように体制づくりを進めていくか、コーディネーターだけでなく社協全体としての考えを統一したうえで取り組むことの必要性を改めて感じており、課内で方針を共有したうえで連携した事業実施に繋げていく必要がある。

施策4 社会福祉協議会への活動支援・組織強化

(1)事業内容について広報活動し、市民の参加、理解を呼びかけた。

①広報活動

再掲(I-4-(2)-①②③④⑤)(P7)

②社協会費(単位:口)

普通会費(1口300円)	特別会費 (普通団体・個人1口1,000円) (特別団体 1口5,000円)	賛助会費(1口5,000円)
11,370口	1,000円 170口 5,000円 5口	187口
3,411,060 円	195,000 円	935,000 円
		合計 4,541,060 円

③寄附金

寄附者の属性	件数	金額
法人の役職員	0件	0円
利用者本人	0件	0円
利用者の家族	1件	5,000円
取引業者	0件	0円
その他	38件	1,593,454円
合計	39件	1,598,454円

④共同募金事業

赤い羽根共同募金は、民間の運動として終戦直後の1947年(昭和22年)に、市民が主体の取り組みとしてスタートした活動。みんなで集めた募金は、自分のまちを良くする活動に使用され、市民自らの行動を応援する募金活動。

一般募金(募金期間:10月1日～12月31日)

種別	金額	備考
戸別募金	3,933,915円	11,515世帯
法人募金	1,528,500円	459法人
街頭募金	16,471円	ふれあい広場
学校募金	126,223円	9小学校 2中学校 2高校
職域募金	41,037円	牧之原市役所、静岡銀行(榛原支店・相良支店・御前崎支店)、社協
その他募金	27,122円	自動販売機、郵便局窓口、社協窓口等
合計	5,673,268円	

歳末たすけあい募金(募金期間:12月1日～12月31日)

種別	金額	備考
戸別募金	672,085円	11,515世帯
その他募金	223,415円	区コミュニティーセンター、明社協
合計	895,500円	

⑤歳末たすけあい事業

共同募金の一環として実施するものである。新たな年を迎える時期に支援を必要とする人達が安心して暮らせるよう民生委員の協力を得て展開する事業

歳末慰問事業対象者:43名 実施期間:平成28年12月1日～12月31日

※平成28年10月1日現在牧之原市在住

[1] 障害児・者のいる世帯(身障手帳1.2級・療養手帳A級・精神障害者保健福祉手帳いずれかに該当)

[2] 高齢世帯で著しく生活にお困りの世帯

[3] 母子世帯・父子世帯で著しくお困りの世帯

※ひとり暮らしの高齢者のおせちセット配付事業

対象者442名、実施日12月27日

給食サービス対象者及び利用していないが、歳末のみ差し上げたい71歳以上(平成28年10月1日現在)のひとり暮らしの高齢者でお正月をひとりで過ごす方(高齢世帯は除く)

★評価

学生や民生委員児童委員など、多くの協力により募金が集まった。特に給食サービスやふれあい広場など、見守りが必要な方への支援が多くできたと思う。また、おせち配付や慰問金の配付では、ひとり暮らしの方は地域の方々に見守られていることに感謝の言葉が聞けた。

★課題

年々募金額が減少しているため、事業の見直しを行っていく必要がある。また、広報啓発活動等を行い、新規協力事業者を募っていきたい。

(2) 事務所間、職員間の情報共有に努め、組織の充実を図ります。

①理事会・評議員会・監査会・経営改善委員会の開催

会議名	開催日	場 所	出席者	主 な 議 事
第1回経営改善委員会	28.4.26	相良総合センター い〜ら	4/5	1.指名競争入札への参加者の選定に関する事項 2.うたり移転に関する報告 3.理事会・評議員会議案について
第2回経営改善委員会(プロポーザル)	28.5.23	相良総合センター い〜ら	5/5	1.うたり設計
決算監査	28.5.17	相良総合センター い〜ら	2/2	平成27年度決算監査 1.事業報告 2.会計経理・資産管理 3.法人組織・運営
第1回理事会	28.5.27	相良総合センター い〜ら	7/10	1.評議員の同意 2.会長の職務代理者 3.平成27年度事業報告の認定 4.平成27年度一般会計収支決算認定
第1回評議員会	28.5.27	相良総合センター い〜ら	18/21	1.理事の選任 2.平成27年度事業報告の認定 3.平成27年度一般会計収支決算認定

会議名	開催日	場 所	出席者	主 な 議 事
第3回 経営改善委員 会	28.8.29	相良総合センター い〜ら	5/5	1.うたりに移転に関する報告 2.理事会の議案について 3.社会福祉法人の制度改正につい て
第2回理事会	28.9.27	相良総合センター い〜ら	10/10	5.評議員の同意
第2回評議員会	28.11.8	相良総合センター い〜ら	13/21	1.一般会計補正予算 2.うたり建設に伴う進捗状況 3.社会福祉法人の制度改正
第3回理事会	28.11.8	相良総合センター い〜ら	8/10	1.一般会計補正予算 2.定款変更(案) 3.評議員選任・解任委員会規程 の修正
第4回 経営改善委員 会	28.11.21	相良総合センター い〜ら	4/5	1.12月開催の理事会・評議員会の 次第について 2.定款の一部変更の確認について 3.給与規程及び細則の一部改正 について 4.ふれあい福祉基金の積替え について 5.平成29年度 社協の組織体系 について 6.うたり建設関係について
第4回理事会	28.12.19	相良総合センター い〜ら	8/10	1.評議員の同意 2.定款の一部変更 3.評議員選任・解任委員会運営 規程の制定 4.給与規程の一部改正 5.給与細則の一部改正 6.一般会計補正予算 7.ふれあい福祉基金の積替え (処分)
第3回評議員会	28.12.19	相良総合センター い〜ら	13/21	1.定款の一部変更 2.評議員選任・解任委員会運営 規程の制定 3.給与規程の一部改正 4.給与細則の一部改正 5.一般会計補正予算 6.ふれあい福祉基金の積替え (処分)
第5回理事会	29.1.16	相良総合センター い〜ら	8/10	1.評議員選任・解任委員会委員 の選任 2.評議員候補者の推薦 3.一般会計補正予算
第1回選任・解任委員会	29.1.25	相良総合センター い〜ら	4/4	1.評議員選任・解任委員会設置 の概要等 2.評議員選任・解任委員会規程

会議名	開催日	場 所	出席者	主 な 議 事
臨時理事会	29.2.16	相良総合センター い〜ら	8/10	1.うたり建設工事に伴う指名業者の選定
第5回 経営改善委員会	29.2.27	相良総合センター い〜ら	4/5	1.3月開催の理事会・評議員会の次第について 2.理事会等に提出する各種規程の確認について
第6回理事会	29.3.27	相良総合センター い〜ら	9/10	1.定款施行細則の全部改正 2.経営改善委員会規程の一部改正 3.評議員選任規程の一部改正 4.ふれあい福祉基金規程の一部改正 5.経理規程の一部改正 6.資金運用規程の一部改正 7.弔慰規程の一部改正 8.会員規程の一部改正 9.表彰規程の一部改正 10.事務局規程の一部改正 11.職員給与細則の一部改正 12.就業規程の一部改正 13.職員給与規程の一部改正 14.パートタイマー等の給与規程の一部改正 15.一般会計補正予算 16.事業計画 17.一般会計予算 18.事務局長の任免
第4回評議員会	29.3.27	相良総合センター い〜ら	11/21	1.定款施行細則の全部改正 2.経営改善委員会規程の一部改正 3.評議員選任規程の一部改正 4.ふれあい福祉基金規程の一部改正 5.経理規程の一部改正 6.資金運用規程の一部改正 7.弔慰規程の一部改正 8.会員規程の一部改正 9.表彰規程の一部改正 10.事務局規程の一部改正 11.職員給与細則の一部改正 12.就業規程の一部改正 13.職員給与規程の一部改正 14.パートタイマー等の給与規程の一部改正 15.一般会計補正予算 16.事業計画 17.一般会計予算 18.理事の選任

(3)人材の掘り起こし並びに人材の確保を行うとともに、新規スタッフに対して講習を実施し、スキルの向上に努めた。

①求人活動

ハローワークやロコミ、広報紙などによる求人を行った。

②雇用促進への取り組み

障がい者の方が就労しやすい環境づくりに勤め、就労しやすくした。

③スキルアップについて

今年度は新規採用職員がいなかったため、県社協の新人研修へは参加しなかったが、各部署ごと、必要な県内外の研修に参加した。

★評価

デイサービスセンターうたり移転の件があり、移転場所の視察及び検討等を行ったため、臨時理事会を開催した。また、外部研修には各部署とも参加できている。

求人は、介護職に応募する方がいないのが現状である。

★課題

介護職の募集をしているが、応募がないため、訪問介護員の不足を解消できない。

社協会費は年々減少している。会費の増額を行えば市民への負担となってしまうため、会費以外の収入増や、支出を再検討する必要がある。

その他:福祉団体等の支援

(1)社会福祉協議会は下記福祉団体等の事務及び補助を行っております。

①牧之原市老人クラブ連合会(シニアクラブ牧之原)(支援内容:総会、GG・輪投げ大会等)

- ・シニアクラブ牧之原相良支部
- ・シニアクラブ牧之原榛原支部

②牧之原市身体障害者福祉会(支援内容:総会、役員会等への協力支援等)

③牧之原市手をつなぐ育成会

- ・青年学級
- ・ひまわり会

④牧之原市遺族会(支援内容:慰霊祭、総会、役員会等への協力支援等)

- ・遺族会相良支部
- ・遺族会榛原支部

⑤牧之原市ボランティア連絡会(支援内容:総会、ふれあい運動会、夏の出前講座、交流会、視察等)

(2)社会福祉協議会は下記福祉団体等へ補助を行っております。

①牧之原市子ども会連絡協議会

②NPO法人精神保健福祉みどり会

③榛原地区相良更生保護女性会

④榛原地区榛原更生保護女性会

⑤榛南断酒会

⑥榛原地区保護司会相良支部

⑦榛原地区保護司会榛原支部

⑧法務省榛原保護区榛原地区保護司会

⑨明るい社会づくり運動静岡県牧之原市地区協議会(相良地区)

⑩明るい社会づくり運動静岡県牧之原市地区協議会(榛原地区)